

未定稿

上平地区複合施設 基本構想 (案)

令和 年 月

上尾市

【目次】

1. 上平地区複合施設とは	1
2. 建設予定地の概要	1
3. 上平地区複合施設検討の前提条件	2
4. 上平地区複合施設への市民意見	2
5. 上平地区複合施設のイメージ	3
6. 公共施設マネジメントに沿った複合施設の考え方	3
7. 上平地区複合施設対象施設の絞り込み	4
8. 上平地区複合施設の概要	5
9. 上平地区複合施設のコンセプト	6
10. 上平地区複合施設配置図イメージ	9
11. 上平地区複合施設平面図ゾーニング	10

【資料編】

資料1. 上尾市上平地区複合施設検討委員会条例	11
資料2. 上尾市上平地区複合施設検討委員会委員名簿	12
資料3. 策定経過の概要	13

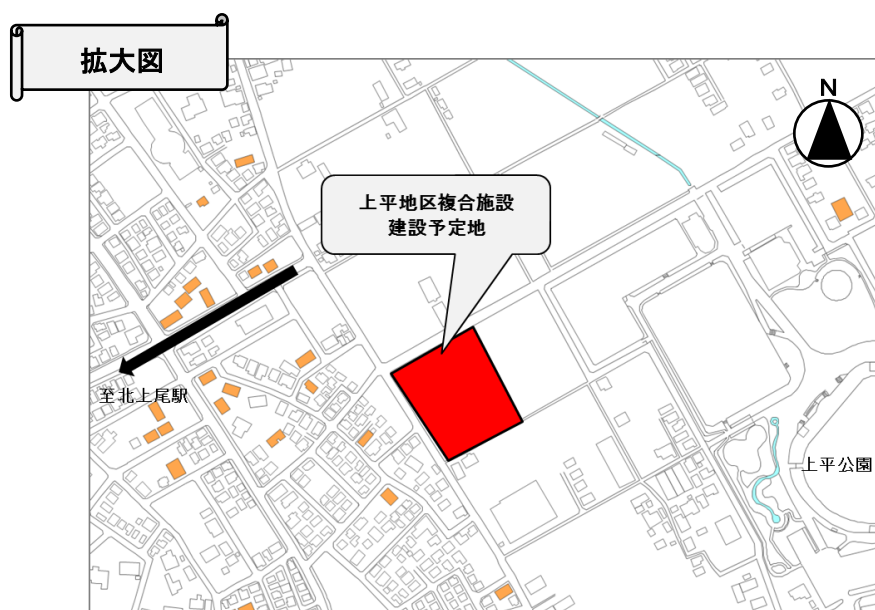
1. 上平地区複合施設とは

市は、図書館本館等の施設を複合化した「新図書館複合施設整備事業」を進めていたが、維持管理費が高額であることなどを理由に事業を見直すこととなった。

見直しにより、新図書館複合施設建設予定地だった上平地区の土地（上尾市大字西門前 580-1 外、敷地面積約 7,200 m²）に新たに建設することになった施設が上平地区複合施設である。

2. 建設予定地の概要

- ・地名地番: 上尾市大字西門前字南前 580 番 1 外
- ・敷地面積: 約 7,200 m²
- ・区 域: 市街化調整区域
- ・建ぺい率: 50%
- ・容 積 率: 100%



3. 上平地区複合施設検討の前提条件

上平地区複合施設は、以下の前提条件に基づき検討するものとする。

- (1)市全体のための施設とする。
- (2)図書館分館機能を有する複合施設とする。
- (3)13 施設（4 ページ参照）の候補の中から複合化する施設を決定する。
- (4)13 施設以外に必要な市民サービスを提供する場合は、共有スペースから場所を確保するものとする。

4. 上平地区複合施設への市民意見

上平地区複合施設の検討にあたり、市民アンケート調査及び市民ワークショップを実施した。

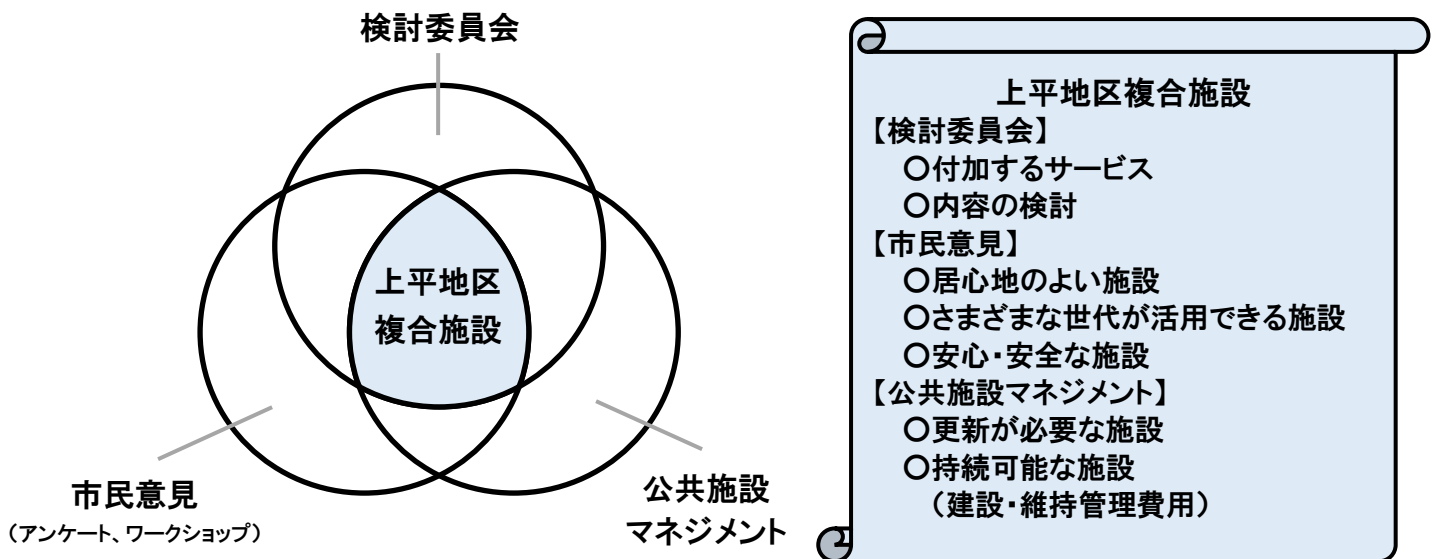
- ・令和元年 5 月に実施した市民アンケート調査では、上平地区複合施設の候補として望ましいものとして、「**保育施設**」「**保健・福祉施設**」「**文化・教育施設**」の組み合わせを望む声が多かった。また、共有スペースを利用して行なった方が良い市民サービスとして「**災害対策・防災活動の場**」「**交流の場**」「**親子のふれあいの場**」を求める意見が多かった。
- ・令和元年 12 月及び令和 2 年 1 月に開催した市民ワークショップでは、複合施設に望む施設やサービスとして、以下の 11 のキーワードに分類される意見が出された。

- | | |
|------------|-----------------|
| ①災害対策・防災活動 | ②地域コミュニティ、自治会活動 |
| ③遊び・余暇を楽しむ | ④福祉・健康 |
| ⑤運動・スポーツ | ⑥生涯学習、文化・教育 |
| ⑦世代間交流 | ⑧子育て |
| ⑨産業・就労支援 | ⑩交通・アクセス |
| ⑪その他 | |

- ・また、上平地区複合施設に取り入れたい施設やサービスとして、「**災害対策や防災活動に活動できる施設**」や、「**自由に過ごせる空間を設けることで、幅広い世代の方々が長く施設を利用できるような居心地の良い場所**」を求める意見が多かった。
- ・さらに、費用をかけずに施設やサービスを提供する方法として「**有料での提供**」や「**民間委託の実施**」などの意見が、施設やサービスを運営するために市民や民間業者が協力するための方法として「**ボランティア、民間業者、NPOの活用**」などの意見が出された。

5. 上平地区複合施設のイメージ

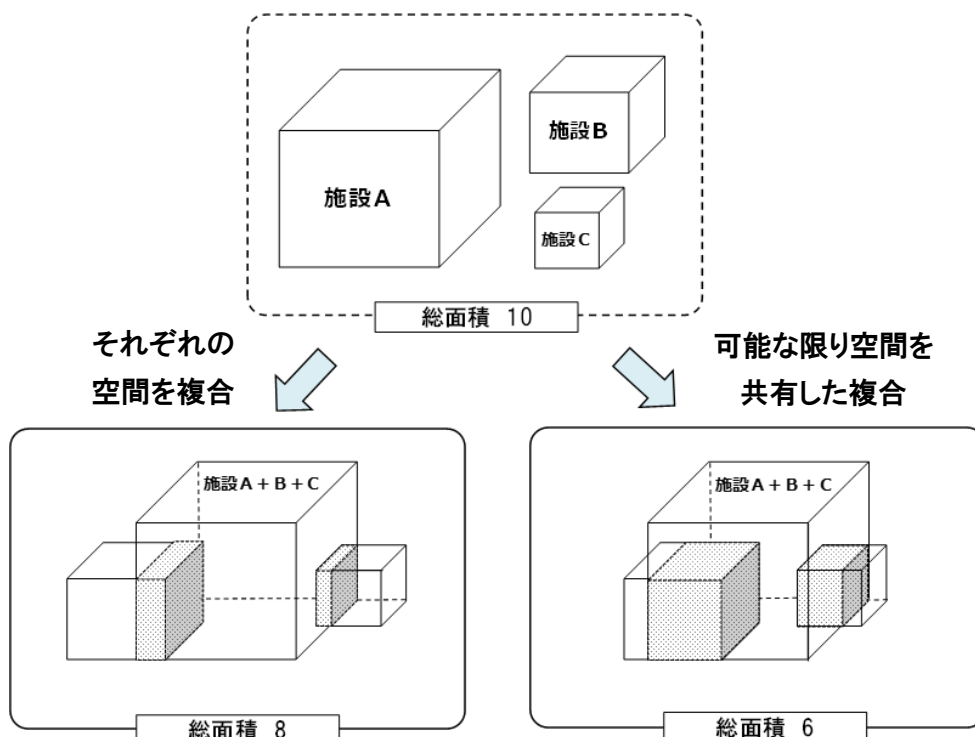
上平地区複合施設は、市民意見として出されたさまざまな市民ニーズに対応し、かつ公共施設マネジメントに沿った施設とする。



6. 公共施設マネジメントに沿った複合施設の考え方

●省スペース化の推進

- ・複合化のメリットとして共有化による省スペース化があげられるが、削減される面積は通路やトイレ、事務スペースに限られることが多かった。上平地区複合施設では、サービスの提供場所を融合させ一体的な利用を行うことで、**共有部分を増加し、総面積削減**につながる施設とする。



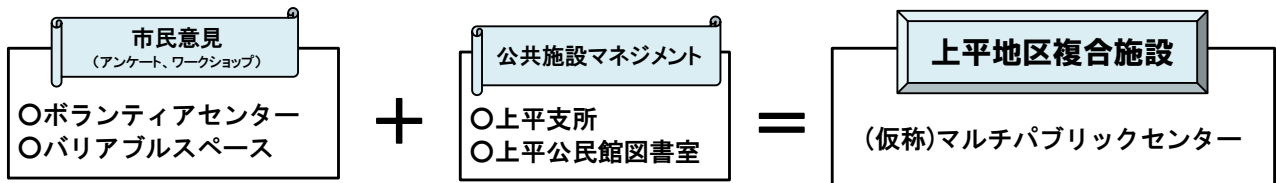
7. 上平地区複合施設対象施設の絞り込み

複合施設の候補となる 13 施設について、更なる絞り込みを行なった結果、以下の 3 施設に絞り込まれた。

No.	目標耐用年数 到来年度	対象施設名	候補	理由
1	R19(2037)	上平保育所	×	上平保育所の定員増及び民間の新規保育園開園により、上平地区における保育需要が充足されることから、目標耐用年数到来年度【令和19(2037)年度】まで現在の上平保育所で保育を継続するとの方針としたため。
2	R8(2026)	しらこぼと保育所	×	
3	R24(2042)	青少年センター	×	
4		少年愛護センター	×	
5	R29(2047)	総合福祉センター (社会福祉協議会)	×	現在の施設を長寿命化して使用するとの方針としたため。
6		障害者福祉サービス事務所 かしの木園	×	
7		身体障害者福祉センター ふれあいハウス	×	
8		老人福祉センター ことぶき荘	×	
9	R27(2045)	上平支所	○	上平地区複合施設への更新の必要があるため。
10	R20(2038)	上平防犯連絡所	△	上平地区複合施設への更新の必要があるため。 (上平公民館図書室が空いた場合、その場所でも可。)
11	R16(2034)	原市資料室	×	保管施設であるため、新規整備ではなく既存施設の空きスペースを活用するとの方針としたため。
12	R14(2032)	文化財収蔵庫	×	
13	R27(2045)	上平公民館図書室	○	上平地区複合施設への更新の必要があるため。

8. 上平地区複合施設の概要

以上の検討を踏まえ、上平地区複合施設の案を、市民意見を最大限実現するための「**バリアブルスペース（目的に合わせて形を変えることができる多用途・多機能な空間）**」と「**防災機能**」を補完し、「**上平支所**」と「**上平公民館図書室**」を複合化した施設（普段はコミュニティ活動などに使用し、災害時にはボランティアセンターとして活用できる場所）とする。



【建物概要（案）】

- ・ 構造：鉄骨造または鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・ 階層：地上 2～3 階建
- ・ 建物の延床面積：2,000 m²程度

- ・ 施設全体での賑わいの創出に加え、各階ごとに用途にあわせて特色を持たせた施設とする。

▲ 1 階 交流ゾーン（動のバリアブルスペース）

多目的ホールを設置し、市民が少人数で自由に活用しながら交流を図る空間を目指す。また、屋外のイベント広場と多目的ホールを一体として活用し、各種イベントをすることで、賑わいの創出を図る。

▲ 2 階 情報・学習ゾーン（静と和のバリアブルスペース）

学習スペースや屋外での読書スペースを設置し、本に親しみながら学ぶことができる空間を目指す。

また、可動間仕切りを設けたワークルームを設置し、グループワークやコミュニティ活動ができる空間を目指す。

9. 上平地区複合施設のコンセプト

①市民サービスを通じた賑わいづくり

- ・上平地区複合施設は、見直しとなった新図書館複合施設のコンセプトであった「集いの場」とする考えを引継ぎ、上平支所と上平公民館図書室の複合化に留まらず、幅広い世代の方々が交流する場として活用することで、市民サービスを通じた賑わいを創出する施設とする。
- ・図書館分館機能として、I C T（Information and Communication Technology：情報通信技術）が導入された開放的な空間で貸出・返却・閲覧や情報検索を中心とした基本的な図書館サービスを実現する施設とする。

（例）I C ゲート、自動返却機の導入

電子書籍の導入

- ・また、共有スペースの一部に十分な学習席やグループワークスペースを配置することで、学生など若者向けの発信力とサービス向上を図る施設とする。

（例）大型スクリーンでの上映会の開催

キッズコーナーの設置

軽飲食の提供

広場でのイベント開催

②災害時に転用可能な施設

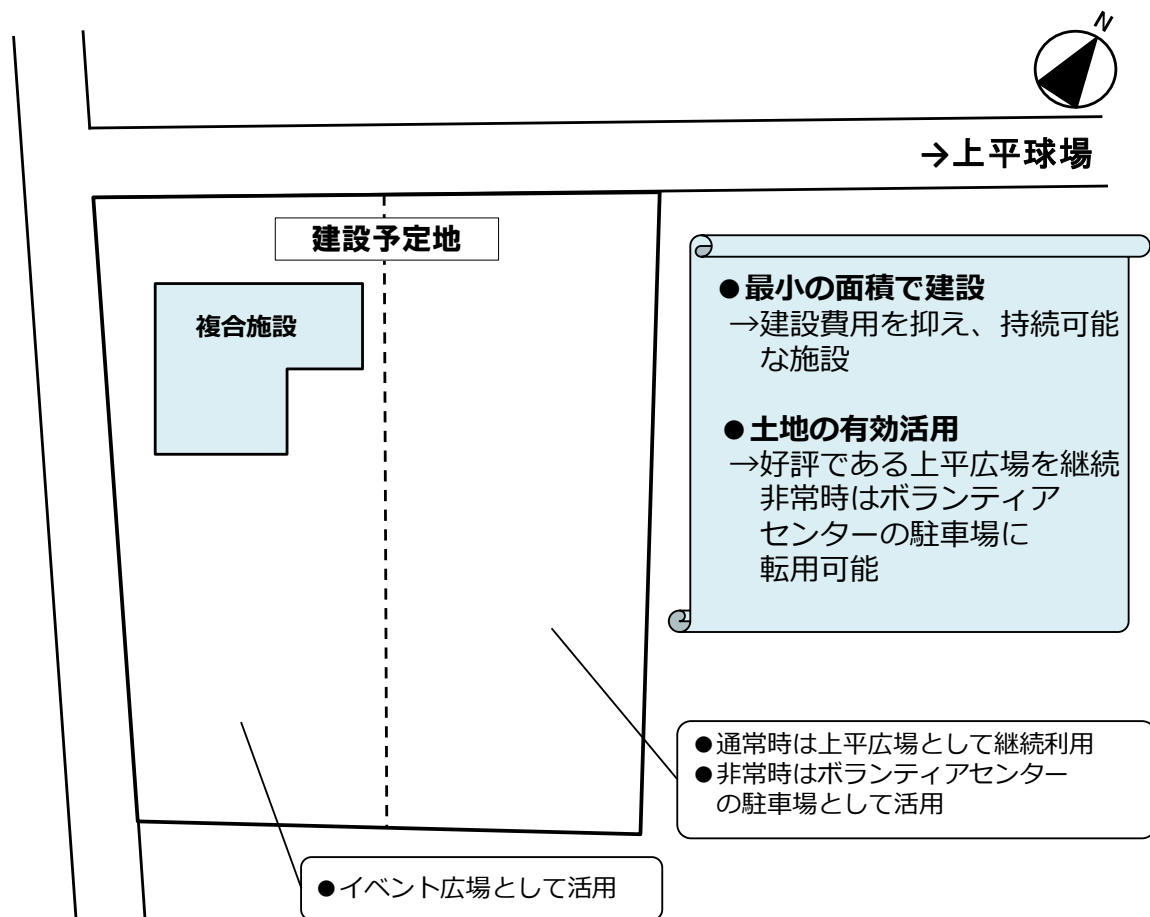
- ・令和元年東日本台風（台風 19 号）等の災害で得た教訓を基に、「災害後のボランティアの受け入れを可能とする施設」とする。
- ・また、通常時には「市民が憩う施設」「子育て世代が交流できる施設」「自治会活動が可能な施設」など、必要に応じて同じ空間を複数共有できる施設を目指す。

③複合から融合へ

- ・会議室は間仕切りを可動式とし、用途や人数によって広さが変えられることで利便性、稼働率の高い施設とする。
- ・例えば、平日は「近隣住民のコミュニティスペース」や「子育て世代の交流スペース」を展開しながら、午後からは共有部分の一部を仕切ることによって学生を対象とした「学習スペース」や「放課後子ども教室」、夜間は「住民自治活動」の場、休日は「各種イベント」の会場とするなど、時間帯や曜日によって同じスペースを多様に使い分ける施設とする。
- ・また、災害時にはボランティア活動を支援するためのボランティアセンターを設けることで複数の市民サービスと融合させ、かつ必要最低限の面積でそれを可能にするハイブリットセンターとなる施設とする。

④最小の建築スペース

- ・建設時は必要最小限の大きさに留めることで建設コストを抑えるとともに、社会環境の変化に伴い時代とともに市民ニーズの変化に対応するため、間仕切りを減らし広い空間から必要なスペースを自由に切り出す複合施設とする。また、敷地については、現在の上平広場を継続利用することで有効活用する施設とする。



(余白)

10. 上平地区複合施設配置図イメージ



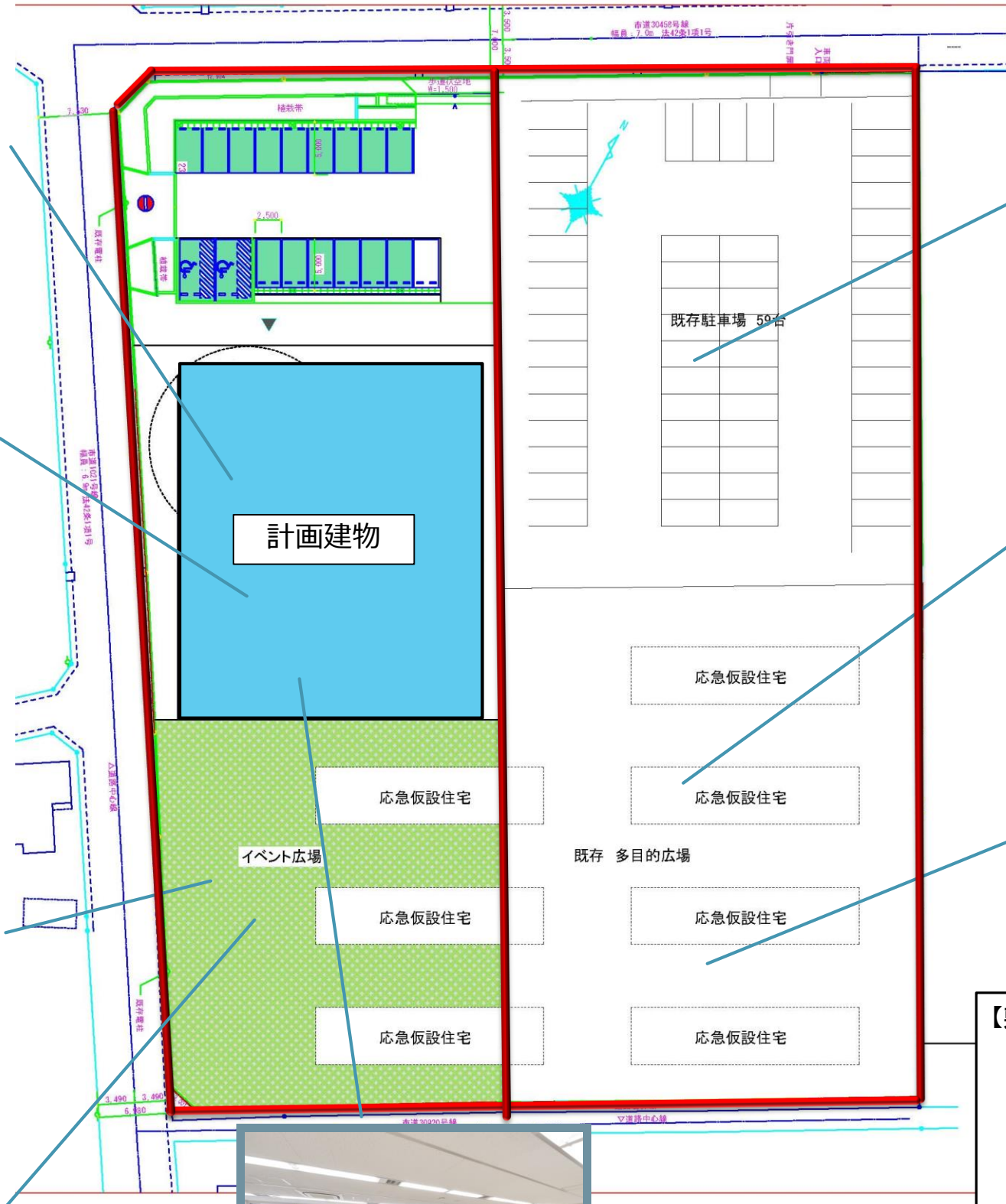
各種イベントの開催



災害時にはボランティアセンターとして利用



広場でのイベント開催



市民の交流スペース



上平広場（既存駐車場）



災害時には応急仮設住宅の建設も可能



上平広場（既存多目的広場）

- 【敷地概要】
- ・地名地番: 上尾市大字西門前字南前580番1外
 - ・敷地面積: 約7,200㎡
 - ・区 域: 市街化調整区域
 - ・建ぺい率: 50%
 - ・容 積 率: 100%
- 【建物概要】
- ・構 造: 鉄骨造または鉄骨鉄筋コンクリート造
 - ・階 層: 地上3階建
 - ・建築面積: 900㎡程度
 - ・延床面積: 2,000㎡程度

1 1. 上平地区複合施設 平面図ゾーニング

基本コンセプト：ボランティアセンターにもなる新しい図書館分館機能をもつマルチパブリックセンター

- 上平支所と上平公民館図書室の複合化に留まらず、幅広い世代の方々が交流する場として活用する施設とする。
- 災害後のボランティアの受け入れを可能とする施設とする。
- 構造：鉄骨造または鉄骨鉄筋コンクリート造、階層：地上2～3階建、建物の延床面積：2,000㎡程度

イメージ図

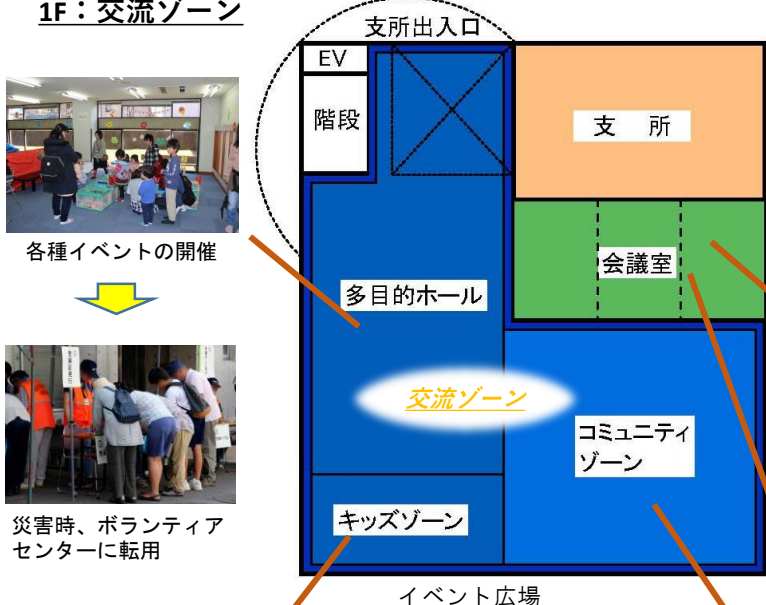
□ 施設全体が図書館分館機能を有する施設とする。

【1階】交流ゾーン：支所機能と多目的ホール+キッズゾーン、可動間仕切りを設けた会議室

【2階】情報・学習ゾーン：開放的な図書館分館機能と若年代向けの学習スペース、可動間仕切りを設けたワークルーム

※レイアウトは参考。館内はWi-Fiを完備。

1F：交流ゾーン



各種イベントの開催



災害時、ボランティアセンターに転用



キッズコーナーの設置



仲間とのレクリエーション活動



運動後などの交流（飲食可）



若者の要望の強い学習席を設置

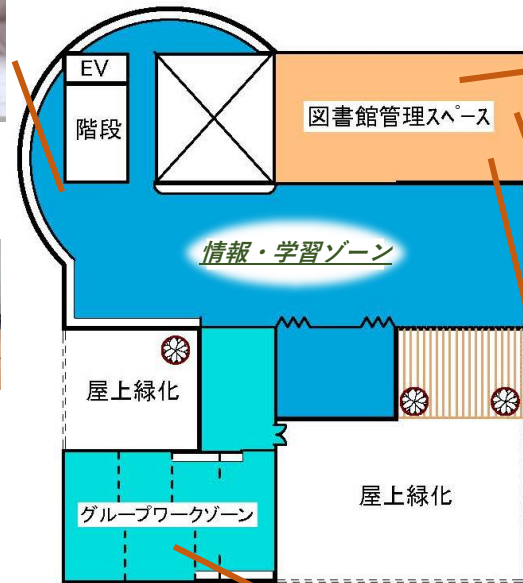


自治会活動等で活用



子育て相談等で活用

2F：情報・学習ゾーン



開放的な図書館
ICゲート、自動返却機



多様な情報要求に応える
情報端末の充実



電子書籍の利用可能



開放的な空間でのグループワークが可能



【資料編】

資料 1. 上尾市上平地区複合施設検討委員会条例

平成31年 3月29日条例第 1 号

上尾市上平地区複合施設検討委員会条例

(設置)

第 1 条 本市における上平地区複合施設（次条において「施設」という。）の整備に関し、その基本的事項を審議するため、上尾市上平地区複合施設検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 委員会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について審議し、市長に答申する。

- (1) 施設の機能に関すること。
- (2) 施設の基本構想に関すること。
- (3) その他施設の整備に関すること。

(組織)

第 3 条 委員会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 識見を有する者 4人以内
- (2) 広く市政に関し知識又は経験を有する市民 6人以内

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、委嘱の日から第 2 条に規定する答申が行われた日の属する年度の 3 月 31 日までとする。

2 委員は、委嘱された時における当該身分を失ったときは、その職を失う。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 委員会に、委員長及び副委員長 1 人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 委員会の会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の会議への出席等)

第 7 条 委員会は、その所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係者に対して、資料の提出を求め、又は会議への出席を求めてその意見若しくは説明を聴くことができる。

(庶務)

第 8 条 委員会の庶務は、行政経営部において処理する。

(委任)

第 9 条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成31年 4 月 1 日から施行する。

(上尾市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 上尾市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和31年上尾市条例第 17 号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(この条例の失効)

3 この条例は、第 2 条に規定する答申が行われた日の属する年度の 3 月 31 日限り、その効力を失う。

資料2. 上尾市上平地区複合施設検討委員会委員名簿

	委員区分		氏名	所属名
◎	1号	識見を有する者	佐藤 徹	公立大学法人 高崎経済大学 地域政策学部・大学院地域政策研究科 教授
	1号	識見を有する者	志村 秀明	学校法人 芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授
	1号	識見を有する者	深堀 清隆	国立大学法人 埼玉大学 大学院理工学研究科 准教授
	1号	識見を有する者	金野 千恵	teco株式会社 代表取締役
○	2号	広く市政に関し知識又は 経験を有する市民	高橋 正一	上尾市区長会連合会 会長
	2号	広く市政に関し知識又は 経験を有する市民	小川 厚則	上平地区区長会 副会長
	2号	広く市政に関し知識又は 経験を有する市民	山下 三佐子	山下法律事務所 弁護士
	2号	広く市政に関し知識又は 経験を有する市民	鈴木 玲子	NPO法人彩の子ネットワーク 理事
	2号	広く市政に関し知識又は 経験を有する市民	岡村 博憲	市民ワークショップより選出
	2号	広く市政に関し知識又は 経験を有する市民	古沢 輝	市民ワークショップより選出

◎:委員長、○:副委員長

※各委員の所属名については、任命時点のものになります。

資料3. 策定経過の概要

● <平成 31 (2019) 年度>

開催日	会議等	内容
5月10日 ～24日	市民アンケート調査	対象：18歳以上の市民3,000人（無作為抽出） 有効回答数：901票（30.0%）
7月19日	第1回検討委員会	●当検討委員会の概要と今後のスケジュール ●市民アンケートの内容と結果について ●市民ワークショップの内容について
12月21日	第1回市民ワークショップ	出席者：51人 ●みんなで魅力的な複合施設を考えよう！ ～施設を複合化する際に、どのような魅力的な施設（サービス）があると良いのかを考えよう～
1月11日	第2回市民ワークショップ	出席者：49人 ●みんなで魅力的な複合施設を考えよう！ ～どうすれば複合施設の魅力をさらに高めることができるのかを考えよう～
2月10日	第2回検討委員会	●市民ワークショップの結果について ●複合施設候補（案）・付加機能（案）の検討について ●今後のスケジュールについて

● <令和 2 (2020) 年度>

開催日	会議等	内容
11月26日	第3回検討委員会	●上平地区複合施設の進捗状況について ●基本構想（案）【複合施設（案）・付加機能（案）】の検討について ●今後のスケジュールについて
12月1日 ～28日	市民コメント募集	提出人数 56名 ご意見・ご提案の件数 199件
1月27日	第4回検討委員会	●市民コメントの結果について ●基本構想（案）の検討について

上平地区複合施設基本構想

令和 年（ 年） 月 策定

上尾市行政経営部施設課

〒362-8501 埼玉県上尾市本町三丁目 1－1

電 話：048-775-5115 FAX：048-775-9819

E-mail：s58000@city.ageo.lg.jp